



6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 中小企業等における低コストで安定的な電力調達に向けた取り組みが進む

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国								

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国								

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由  
 個々の企業等の電力安定確保に対する取り組みの評価であり、数値で表せるものではない。

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)  
 企業に問い合わせて確認する。

事業の必要性

**現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性**  
 現在の電力事情を踏まえ、企業は省エネやコストダウン等の努力を続けているが、今後、国の電力システム改革による電力小売り料金の全面自由化等への対応が求められるため、情報提供等による県の支援が必要である。

**住民ニーズに照らした事業の必要性**  
 電力料金は依然として高騰が続いており、企業にとって低コストで安定的な電力調達のニーズは高い。

**事業の県関与の必要性**  
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの  
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの  
 企業等が取り組みを効率よく進めるため、必要な情報の提供等、県による先導が必要である。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業 その他